

漁海況月報

平成27年12月15日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況予測

(1) 現況

12月14日の人工衛星画像によると、黒潮は潮岬で接岸したあと東進し、石廊崎沖をS字状に北上しながら、房総半島沖を北東に進んでいます。

渥美外海は、御前崎沖から渥美外海にかけて暖水が流入しており、上り潮（西向きの流れ）となっている模様です。

(2) 予想

黒潮はN型からC型へ移行する予想ですが、渥美外海へは御前崎方面からの暖水波及が続くと予想されています。

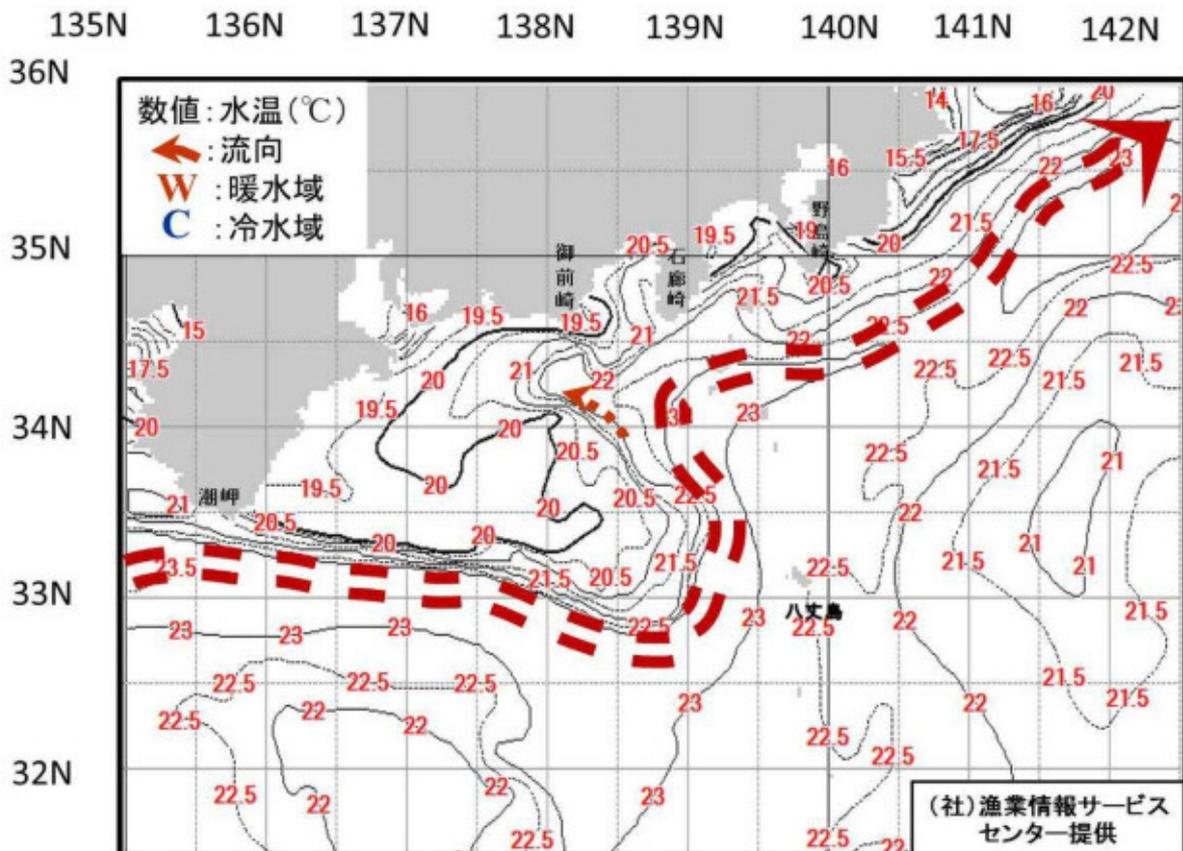


図1 海況の現況[2015年12月14日]

2 イワシ類

(1) シラス

11月の県内漁獲量は約1,876トンで、同じ時期としては、好調であった昨年の3倍以上、平年の5倍近くの漁獲量となりました。

主な漁場は伊勢湾内が中心でしたが、外海にも形成されていました。

単価はカゴ(約20kg)あたり月平均で11,606円となり、漁獲量を反映してか、昨年同月(13,962円)を下回っていました。

12月上旬も好調な水揚げが続いており、12月としても既に好調であった昨年12月を上回りました。年間を通して昨年、平年を大きく上回っています。

表1 愛知県シラス類漁獲量 (単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	7	440	753	256	220	782	1,642	365	39	4,503
2011	1	0	0	169	583	1,168	1,219	517	677	547	478	279	5,637
2012	9	0	0	110	444	832	1,383	1,167	679	1,142	496	181	6,443
2013	4	0	0	723	1,667	374	250	295	1,248	322	353	127	5,363
2014	0	0	0	594	2,828	527	18	891	672	1,400	592	236	7,758
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40	166	164	1,002	1,876	781	9,736
10年平均	5	0	7	409	1,357	971	644	654	647	676	381	147	5,900

*2015年12月は14日まで

11月のカタクチイワシ卵は、渥美外海では確認されていませんでしたが、伊勢湾では768粒採集され、昨年の約2.6倍、平年の9.4倍となっていました。

現在、黒潮はN型ですが、今後C型へ移行する予想です。渥美外海へは御前崎方面からのやや強い暖水波及が続くと予想されています。このため、シラスは渥美外海で滞留しない可能性が高いと考えられます。

秋季のシラス漁は、内湾での再生産よりも黒潮内側域からの供給に頼っている部分が大いいため、11月の内湾で卵の採集量が多かったこと、水温が高めで経過していることはプラスですが、来遊水準は低いと考えられることから、水温の低下とともに漁獲は徐々に低下していくものと考えられます。

表2 カタクチイワシ卵採集数

渥美外海の卵採集数(15点合計)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	0	0	欠測	135	1,393	246	105	221	45	1	3	0	2,149
2013	0	0	320	102	340	388	159	20	4	0	0	0	1,333
2014	0	0	149	1,071	329	20	37	114	249	59	4	0	2,032
2015	0	2	703	15	1	112	126	12	5	148	0		1,124
平均(過去5年)	0	0	176	1,952	1,044	787	473	408	11	1	14	1	4,760

伊勢湾の卵採集数(15点合計)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	N	N	N	4	512	1,094	1,945	1,424	417	3	15	N	5,414
2013	N	N	N	0	30	1,237	4,764	1,366	876	9	42	N	8,324
2014	N	N	N	10	502	221	733	164	88	315	291	N	2,324
2015	N	N	N	1	191	160	30	1,291	61	132	768	N	2,634
平均(過去5年)	N	N	N	9	729	3,441	3,857	1,908	383	84	81	N	10,491

(2) マイワシ (成魚・未成魚)

11月の県内におけるマイワシの漁獲量は約1,413トンで、この時期としては比較的好調であった昨年を上回り、平年を大きく上回っています。

主な漁場は、月初めは三河湾でしたが、水温低下とともに、魚群は外海へ移動した模様で、月の後半は伊勢湾中部から渥美外海にかけて漁場が形成されていました。12月に入ってから伊勢湾内での漁獲は続いており、三河湾でも低水準ながら漁獲されています。

例年、水温低下とともにイワシ類は湾外へ魚群が移動していくことから、今年の漁もあと少しの間と思われます。

昨年は11月下旬から12月上旬にかけてシラスの漁獲物中にマシラスやウルメシラスが確認されています。今年はいまのところ確認していません(図2)。2016年は、全国的な資源水準の回復をうけて伊勢・三河湾地域へのマイワシの来遊が期待されると思いますが、本格的なイワシ時代の到来はもう少し先になりそうです。

表3 愛知県マイワシ漁獲量

(単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	0	0	2	288	653	675	247	17	0	1,881
2011	0	0	1	0	2	29	361	1,223	1,091	264	68	4	3,044
2012	0	0	0	0	0	72	49	499	214	52	0	0	886
2013	0	0	0	0	1	8	107	577	295	3	0	0	992
2014	0	0	0	<1	0	104	269	1,547	1,334	617	422	180	4,474
2015	76	78	0	0	0	4	1,010	2,100	3,184	2,684	1,413	427	10,976
10年平均	0	1	0	0	1	32	167	568	423	165	72	24	1,006

*2015年12月は14日まで

*7月以降の統計数値を修正しました。

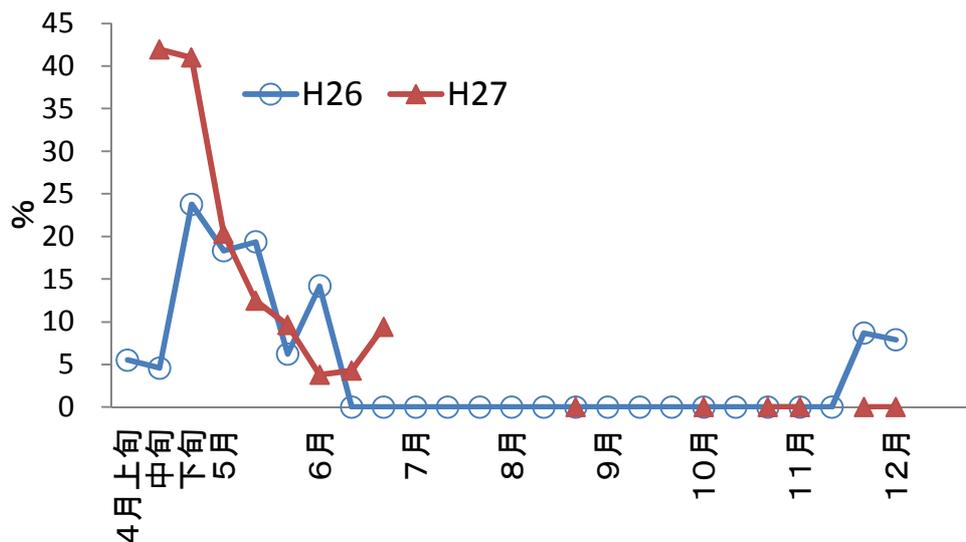


図2 シラス漁獲物に占めるマイワシシラスの混入率 (愛知水試調べ)

(3) カタクチイワシ (成魚・未成魚)

11月の県内におけるカタクチイワシの漁獲量は約1,223トンで、この時期としては比較的好調であった昨年は下回りましたが、まずまずの漁獲量となっています。

主な漁場は伊勢湾ですが月の終わり頃に三河湾でも漁場が形成されていました。

12月に入ってから、伊勢湾～湾口部で漁獲は継続されており、三河湾でも漁獲されています。12月10日の魚体測定結果からは、9cm～10cmの魚群に混じって、5cm～6cm台のカエリサイズも目立っています(図3)。

こちらもマイワシと同様、水温低下にともない湾外へ魚群が移動していくものと思われる。

カタクチイワシは、春シラスが好調であったことから、ある程度の漁獲が期待されていましたが、結果は昨年、平年を下回りました。また、昨年の秋冬シラスの漁獲も好調でしたが、春の漁獲には結びつきませんでした。地先系群の資源量は豊富であると考えられますが、2016年も今年と同様な漁模様となりそうです。

表4 愛知県カタクチイワシ漁獲量 (単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	0	1	1,529	4,844	4,819	1,775	590	1,497	973	16,028
2011	37	92	116	561	768	1,945	3,610	4,935	572	159	294	401	13,491
2012	46	0	0	260	1,471	1,792	1,824	3,704	2,197	483	851	354	12,983
2013	0	0	0	0	803	2,680	4,794	5,382	2,382	1,082	2,811	1,768	21,702
2014	446	0	0	655	269	2,864	5,389	3,742	3,009	2,609	1,971	703	21,657
2015	231	226	0	131	0	286	4,707	2,888	2,900	665	1,223	221	13,477
10年平均	61	25	12	214	738	1,861	3,926	4,091	2,398	1,526	1,312	737	16,899

*2015年12月は13日まで

*7月以降の統計数値を修正しました。

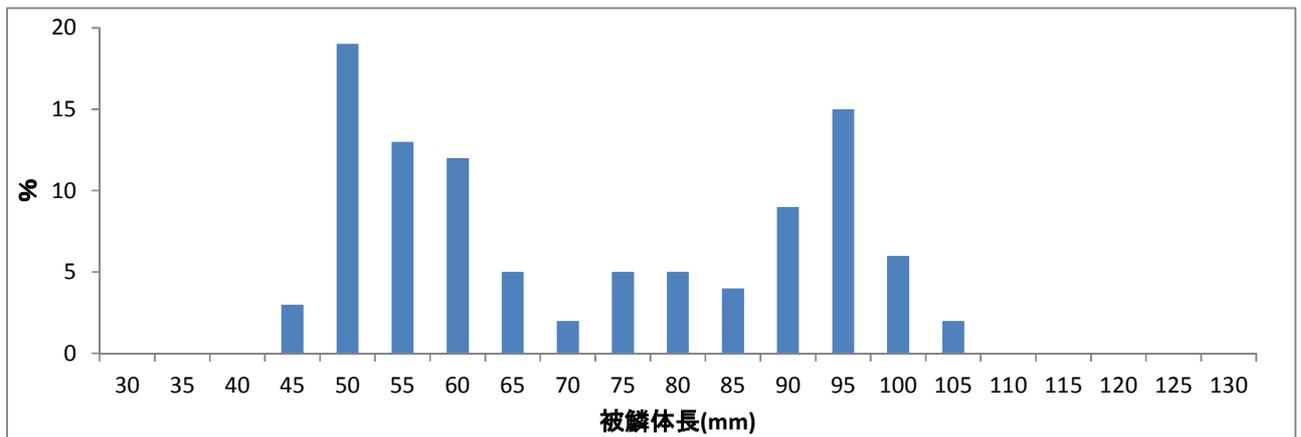


図3 カタクチイワシ体長組成 (n=100、愛知水試調べ)